

## 市長と語ろう！笠間タウントーキング 第6回 議事録

**開催日時** 平成22年7月24日（土） 午後7時～8時30分  
**開催場所** 友部公民館 2階 会議室  
**参加者** 市民 14人

### 《フリートーク（意見交換）》

1. 小中学生の学力診断テストの実施状況とデータの公表について
2. 小中学生の道徳教育について
3. 夜間小児科の救急受入れについて
4. 宍戸駅の新設トイレと電灯について
5. 各種団体への補助金について
6. ユニバーサルデザインについて
7. 赤十字アマチュア無線奉仕団の災害用無線の採用について
8. 宍戸橋近くの点滅信号について
9. 国道355号八反山付近の植木の剪定について
10. 稲田駅市営駐車場における若者の迷惑行為について
11. 南友部地区内の公園整備について
12. 柿橋グラウンドへの避難所設置について
13. スポーツ団体の市のバス利用について
14. 有料ボランティアについて
15. 光ファイバー推進事業について
16. 北川根グラウンドについて
17. 笠間市の人口減少対策について

### 《内容》

1. 小中学生の学力診断テストの実施状況とデータの公表について

#### 【意見等】

笠間市内の小中学校が少子化の影響で、学年1クラスだったり、20人程度の少人数のクラスだったり小規模の学校になっている。また、全国の学力テストも強制ではなくなっているので、市内小中学校間の学力の差が気になる。他市町村と比べてどうか知りたい。

また、笠間市独自の市内統一テストを実施しているのか知りたい。

#### 【回答】

全国の学力テストについては、笠間市では前年度から実施しています。結果は、全国平均程度です。学力診断テストなどの結果については、積極的に公表していきたいと思っていますので、前年分については、教育委員会のホームページで公表しています。

市内の統一テストについては、笠間市では実施していませんが、基礎的な学力を上げるために、小学5・6年生を対象に毎週土曜日に3地区の公民館で寺子屋授業という補習授業を行っています。今年で2年目になりますが、学力が上がるのかどうかといったことを精査しながら、取り組んでいこうと考えています。

市内の小中学校については、規模的にかなり差がありますので、子どもの数、学校の配置を含めて、これからの学校はどのくらいの規模が良いのか、検討委員会で議論をしています。中間的な報告として、小学校ではクラス替えのできる一学年2・3クラス、中学校では各担当教科が配置できる9クラス以上ということ考えています。また、現在は40人学級ですが、それよりも少ない人数の基準にしようと考えています。

2. 小中学生の道徳教育について

#### 【意見等】

若い世代を見ると、礼儀作法や思いやりといった道徳心が欠けているように思う。今の親御さんはどのような考えをもっているのか、また、学校ではどのように考え、どのような指導を行っているのか、知りたい。学力ばかりでなく、道徳についても指導してもらいたい。

#### 【回答】

子どもたちが道徳心をもつということは、人間として重要なことと考え、各学校では道徳教育を行っています。小中学校では道徳の時間を設けて指導しています。

道徳教育は、学校、家庭、地域といったいろいろな場で教える必要があると思っておりますが、道徳心を子どもたちに持たせるのは、基本は家庭だと考えています。家庭教育の重要性をお伝えしていくために、小中学校、幼稚園、保育園の全校・全園で家庭教育学級を行っています。

### 3. 夜間小児科の救急受入れについて

#### 【意見等】

2歳の子どもがいるが、新型インフルエンザにかかったときに県立中央病院が窓口となるということが報道されており、茨城県のコールセンターに電話をすると県立中央病院を薦められたので、県立中央病院に行ったが検査すらしてもらえなかった。

また、夕方、子どもがアスファルトに頭をぶつけたときも、コールセンターで脳外科の先生が県立中央病院にいるのでと薦められたが、やはり診てもらえなかった。

結局、新型インフルエンザだったり、ウィルス性胃腸炎だったりしたときは、土浦か取手まで行かなくてはならないのが現状だ。救急車を使うべきか、自分の車で行くべきか、と迷ってしまう。

子どもは夜間になって急激な症状を出すことがあるので、大きな病院に断られてしまうと、とても不便である。笠間市として、開業している先生が担当となり、夜間診ていただけるようなシステムをつくっていただきたい。

#### 【回答】

お子さんを育てていく中で、医療の面でのご苦労が多いと思いますが、行政としても悩みとしているところです。今年から市立病院でも夜間の診療を始めたのですが、その中での議論でも小さなお子さんの診療が最大の課題となりました。結果的には、一般の内科、外科のお医者さんでは小児科は診られないということで、電話でご連絡いただき対応していくということになっています。

県立中央病院でも、去年から小児科が再度開設していますが、夜間には対応できないということで小児科の先生を確保することが喫緊の課題となっています。

市立病院としては、小児科の先生を確保することは難しいので、県立中央病院に確保をお願いしている現状です。

小さなお子さんの場合、病状が急変したり、診る側のドクターのリスクが非常に高かったりということで小児科の専門医でないと対応できないという状況が出ており、ご相談やご意見をいただいています。市としては、小児科医の確保を県にお願いしていきたいと思っています。

### 4. 宍戸駅の新設トイレと電灯について

#### 【意見等】

宍戸地区で懇談会を行ったところ、いくつか意見が出たので要望したい。

宍戸駅には新しくトイレができたが、夜は暗いので電灯を一灯増やしてほしい。増やすのなら、コミュニティボードの辺りがよい。

トイレの男女別の区別が、デザインとしては最高だが、一般的でないのがわかりにくい。

駐輪所に近づくとも電気がつくようになっているが、近づく前の、階段を降りる一步を明るくしてほしい。

#### 【回答】

担当に確認するようにいたします。できるかぎり対応していきたいと思っております。

### 5. 各種団体への補助金について

#### 【意見等】

友部地区のスポーツ団体の協会長をしている。スポーツの各種団体は、市から1万5千円程度補助金をいただいているが、来年はなくなるという話を聞いた。グラウンドゴルフなどでは470人も所属しています。100名以上のクロッケーやペタンクの団体もあるので、そういった団体に対しては、補助継続をお願いしたい。

#### 【回答】

現在、各種団体に対しての補助金の検討委員会が議論をスタートしております。前回は検討委員会で検討していただいたものを、最終的に行政でまとめて各種団体に補助金を出したところ、いろいろ意見をいただきましたので、今回は丁寧に各種団体の方にご意見を聞こうと思っています。各種団体の代表の皆さんに、補助金について考えや意見をお聞きするアンケート通知等を出す予定に

なっています。検討委員会を立ち上げ、議論していることを交付団体の皆さんにはご理解をいただきたいと思ひます。

基本的には、各団体の運営費は会員の皆さんの会費でやっていただきたいと考えています。ただし、公共性の高い事業であれば、補助金を出していきます。団体によっては、毎年新しいことを積極的に行っていたり、その活動が広がっていったりといった団体もありますので、そういった団体には、補助金を前年度より上乗せしています。すべての補助金を削るというわけではありません。

## 6. ユニバーサルデザインについて

### 【意見等 1】

先ほど、宍戸駅のトイレの表示が分かりにくいという話がでた。そのことで、笠間市は、ユニバーサルデザインの基本を決め、何か作る時には、それに基づきデザインを決めているのだろうか。

### 【回答 1】

バリアフリーの考え方は、位置づけをして行っていますが、ユニバーサルデザインについては正確な位置づけはしておらず、事業の中で必要なものには取り入れるようにしています。

### 【意見等 2】

国道と県道や国道と市道のように大きな交差点の段差がほとんど統一されていないと思うが、新しく建設していく場合には、ユニバーサルデザインのような基準があったらよいのではないだろうか。

### 【回答 2】

最近の新しいものについては、そういった方向で行っています。今後とも注意して行ってきたいと思ひます。

## 7. 赤十字アマチュア無線奉仕団の災害用無線の採用について

### 【意見等】

最近、九州や四国などで異常気象による災害が起きている。先だって災害が起きたときには、情報が錯綜してどれが本当の状況なのか、把握できなかつたということがあった。携帯電話や非常電話などで情報を収集するには限界がある。赤十字奉仕団の中には、アマチュア無線奉仕団があり、無償で配線工事をし、災害が起きた際には対策本部と連絡をとったり、情報を収集したりしてくれる。

今年、北茨城市で県の防災訓練が行われるが、北茨城市にはアマチュア無線奉仕団で付けた無線の施設がある。来年は笠間市で茨城県の防災訓練が予定されていると聞いたが、ぜひ、奉仕団の話聞いていただきたい。災害にも強い市を目指していただきたい。

### 【回答】

担当課から連絡をさせていただき、どんな効果があるかも含めてお話をうかがいたいと思ひます。

## 8. 宍戸橋近くの点滅信号について

### 【意見等 1】

はなさかの下の宍戸橋にかかるには点滅信号があるが、一年のうちに何度も事故が起きている。昨日も事故があったようだ。そんなに費用をかけなくても、もっと見通しよく改善できるのではないか。

### 【回答 1】

ご意見のあった交差点は、長年の課題となっています。行政で行う以上は、半端な形にはできないので、きちんとした改良が必要だと思ひています。事業担当が県ですので、県の方をお願いをしています。県の方も潤沢に金があるわけではないので、緊急性がないわけではないのですが、すぐ着手する段階ではないようです。引き続き県に要望していきます。

### 【意見等 2】

道路に段差をつけて、必ずいったん止まるようにしてはどうだろうか。

### 【回答 2】

スーパーや大型ショッピングセンターの駐車場にあるような段差は、公道では難しいです。公道につけるとトラックなどに積んでいるものが衝撃で壊れるということがありますので、公道にはつけられないと思ひます。

### 【意見等 3】

両方を赤の点滅信号にしたらどうだろうか。

**【回答 3】**

警察とよく相談してみたいと思います。

9. 国道 3 5 5 号八反山付近の植木の剪定について

**【意見等】**

地区の懇談会に出たところ、若い方が「国道 3 5 5 号から八反山へ旧道で通っていくところは木が生い茂っていて車に枝が触ってしまうので、その枝を切ってもよいか」と質問していた。こういったところは、市内にたくさんあり、回覧板でも枝払いをお願いしているが、応じてくれる方とそうでない方がいる。どうにかならないだろうか。

**【回答】**

一般の方が勝手に切るとトラブルになりますので、切らないで市の道路整備課に相談してください。市から地主さんにお話をします。

10. 稲田駅市営駐車場における若者の迷惑行為について

**【意見等】**

稲田駅の市営駐車場では、車がなくなった後に、お祭りの練習でロックンロールを踊っている若者が練習後に騒いだり、バイクに乗ったりするなどうるさくて困っている。最近では近所の方がパトカーを呼んでいる。お祭りの実行委員にでも注意していただくなど何か対策をお願いしたい。

**【回答】**

今月の末に稲田のまつりがありますので、それに合わせて高校生などが練習をしているのだと思います。大人が注意をすると一旦はやめるのですが、また繰り返しになってしまいます。

駐車場に鍵を閉めるというわけにもいかないですし、お祭りの実行委員会の方から踊りをするなどとも言えないですし、こちらとしても妙案がない状態です。

こういった状況は市でも理解しておりますので、そういう場面に出くわした時には、できるだけ注意していきます。

11. 南友部地区内の公園整備について

**【意見等 1】**

南友部には公園がないので、北山公園に行っている。私は車があるので行けるが、車がない人は公園に行けない。アパートで遊ばせるにも、大型トラックが通ったりするので危険を感じる。

子どもが遊べる広場を南友部にも一つ造っていただきたい。

**【回答 1】**

確かに南友部地区には、公園がありません。現在、友部地区に児童館を造ろうと検討委員会を立ち上げて検討しているところです。児童館に公園を造れるか、また、児童館をどこに造るのか等、よく検討したいと思います。

**【意見等 2】**

遊具はいらないので、芝生があって子どもたちが駆け回れるような場所を造って欲しい。

**【回答 2】**

今月、畜産試験場跡地も一部広場として自由に使えるようになりましたので、ぜひご利用ください。公園については、常磐線、水戸線含めて、南側が少ないので徐々に整備していきたいと思えます。昨年、柿橋公園がオープンしましたが、そこには芝生を張る考えはございません。

12. 柿橋グラウンドへの避難所設置について

**【意見等】**

柿橋グラウンドに関して要望したい。グラウンドで雨宿りするところがほとんどないので、テニスコートの南側、以前ゲートボールをやっていた辺りを利用して簡単な避難所を作ってほしい。また、芝生を植えれば、お子さんから高齢者の方まで使えるスペースになる。

**【回答】**

柿橋グラウンドは利用率も高いのでよく検討します。

13. スポーツ団体の市バス利用について

**【意見等】**

クロッケーの団体では、千円の年会費で運営しているが、約半分は県の方へ負担金として支出し

てしまうので、残りを会の運営費としているが、県大会のバス費用として約3万円を一日で使ってしまうので、負担が重い。約120名の会員が県大会に参加をするのに市のバスを借りたい。

**【回答】**

市と社会福祉協議会にそれぞれにバスがありますが、バス利用に関しては、市の事業と一体的に行うようなものの時には、市のバスをお貸ししています。

以前は、任意の団体や子ども会にもお貸ししておりましたが、警察から本来の公共バスとして公共性の高いものについての利用に制限してくださいという通知が来ました。市としてはこれをきちんと遵守していこうとしています。

バスの利用に関しては使用目的によりますので、総務課と相談してください。

#### 14. 有料ボランティアについて

**【意見等1】**

市長のマニフェストに有料のボランティア制度のようなものを作るとのことですが、そのときには、行政だけで進めるのではなく、NPOの意見を取り入れるなど、一般の方々の意見を取り入れてほしい。

**【回答1】**

マニフェストの中で「自助・共助・公助」についてありますが、社会の中には行政の責任でやるもの、住民の皆さんの責任でやるもの、協働でやるものとそれぞれあると思います。笠間が高齢者の皆さんが地域に貢献したいという気持ちが強いので、そういった方々のお力を活用していく上で、若干有償でお手伝いをしていただく方が良いのではないかと考えています。地域に社会の第一線を退いた方たちの知識や経験を活用していくために、ポイント制が良いのか、有償が良いのかといったことを含め、制度がどういう形でできるか担当課の方で検討しています。社会福祉協議会だけでなく、ボランティアグループの皆さん方の意見をとりいれて良いものをつくっていききたいと思っています。意見を聞く会なども催したいと思っています。

**【事前質問と回答】**

質問番号30

団体の活動を行う際に、ポスター・チラシの作成など広報担当、照明・映像音楽の演出担当、当日の機器操作担当などのスタッフとしての人材がいなく悩んでいる。

出前講座の講師登録のように、市民の持っている特別な技術や能力をかりることができる「お役立ち登録」があればありがたいと思っている。たとえば、市民活動課の中にセクションを設けて「お役立ち券」を発行し、ポイント制にして市民が自由に活用できるしくみにしてはどうか、ぜひ検討し実現してほしい。

**回答** (担当課：市民活動課)

ご提案のあった「お役立ち登録」のような人材バンク制度については、市民同士が助け合う「自助」を醸成するために必要なものと認識しており、類似する施策や事業などから有効性を探っているところです。

また、マニフェストに掲載されています「市民活動ポイント制度」の中に、ご提案のあったようなものを包括できるかどうか検討してまいります。

ポイント制度を導入するまでには費用対効果を見極め、関係機関との調整や予算化、システム開発・運用テストなどが必要となるため、導入までには、まだ時間がかかりますが、より有効な制度とするため、十分な協議をしていきたいと考えております。

**【意見等2】**

質問番号30番で提案をしたが、何の手当もなしにお願いするのは気が引ける。何らかの形でそれが還元できるようなポイント制などを取り入れることで、行政も市民も納得しあって活用できるのではないだろうか。

**【回答2】**

そういった形ができればよいと思っています。今後とも検討していきたいと思っています。

#### 15. 光ファイバー推進事業について

**【意見等1】**

光ファイバー推進事業について、「わかりやすいかさまの予算」では、平成23年3月完成予定となっているが、光ファイバー、Bフレッツは7、8千円かかるらしいが、一般家庭ではいくらかかるのだろうか。

【回答1】

正確な料金はわかりませんが、7、8千円よりも安くなると思います。

【意見等2】

NTTとKDDIが参入しないから、行政として光ファイバーを引くということだと思うが、それは市場性がないところに、将来的に赤字になることを覚悟して行うということだろうか。

自分は、町の真ん中に住んでいるが、Bフレッツを使う必要がないと思っているが、実際、どれくらいの人が使うのか。非常に疑問である。

【回答2】

NTTさんとお話をしたところ、まだ整備されていない笠間地区の半分と岩間地区全体の世帯数の3割～4割が加入していただければ、市の負担はないということでした。市では積極的に加入促進を行っていくつもりです。

【意見等3】

光ファイバー網自体は市の財産なので、NTTに貸す。KDDIには貸さないのか。

【回答3】

NTTだけです。

【意見等4】

笠間の中心部は、光ファイバー、Bフレッツが入っていると思うが、実際どのくらいの加入率なのか。

【回答4】

光ファイバー推進事業を決定するときにアンケート調査を行い、3割は上回ったので、問題ないということで決定しました。加入率が当初少ない場合でも、同じ笠間市内でサービスを受けるという考えに立てば、多少は市からの持ち出しがあっても、やむを得ないと思っています。

できる限り持ち出しは少なくしたいので、加入をお願いしたいと考えています。

#### 16. 北川根グラウンドについて

【意見等】

北川根の多目的グラウンドを使用しているが、サッカーなどをやった後や、雨が降った後はでこぼこになってしまうので、グラウンドを月に一回くらいならしてほしい。

【回答】

現場を見て対応を考えます。

#### 17. 笠間市の人口減少対策について

【意見等】

資料には、年少人口、老年人口、すべて県内10位前後となっている。老年人口が県内10位で極端に高いわけではないのに、出生の順位が33位ということはどういうことか。高齢化が進んでいるということならば、老年人口も県内10位ではなく、もっと上位にあがるのではないか。

【回答】

全体的にどこでも高齢化ですので、順位の変動は大きな問題ではないと思います。

笠間市は、出生数が33位ということで、生まれる方と亡くなる方の差の自然減の部分と20代、30代の外部に流出している社会減が非常に多くなっています。

若い人を地元にとどめたり、呼び込んだりしようということで、恋人の聖地づくりのプロジェクトを始めまして、定住化対策などに取り組んでいます。